

学校教育目標 「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」

校訓 「自主・責任・規律・親和」 R7.12.3発行 文責 校長 本多 博

## 南部中学校の生徒、「文化面」でも頑張っています！（その1）

### 「伝えよう！いのちのつながり～家族のきずな～」で受賞しました

「伝えよう！いのちのつながり～家族のきずな～」の636点の応募作品の中から、掛屋 莉奈さんのエッセイ「感謝のつながり」が『市長賞』、吉永 希愛さんのエッセイ「色んな気持ち」が『優秀賞』に選ばされました。二人の作品を掲載しています。ぜひ、ご一読ください。

#### 「感謝のつながり」 1年 掛屋 莉奈

私たちはみんなで協力し、みんなとふれ合いながら日々を過ごしています。

でもこれは当たり前ではありません。いろんな国では戦争や紛争が行われていて住民たちは安心して暮らすことができません。だから私たちは安心して暮らすことができるこの社会に感謝して毎日を過ごさなければなりません。

私たちの命があるのも祖先の方々や親が命をつないできたおかげで、いまの自分があるので感謝の気持ちをもって今日も頑張ろうと思います。

争いをなくすためにも先生方や友達地域の方々そして家族に感謝し、自分にできることを進んで自分からすることをしていきたいと思います。

いろんな人々の苦労や努力の積み重ねがこの日々の毎日をつくってくれているおかげで、今の私たちがあることを感謝して次の命にもつなげていきたいです。

#### 「色々な気持ち」 3年 吉永 希愛

私は今、お母さんと弟と3人で暮らしています。お父さんは私が小学校にあがる前にお母さんと離婚をしました。お母さんはずっと一人で私と弟を今も育ててくれています。いつも仕事から帰ってくると「キツイ」や「疲れた」などと言っています。だけど土曜日はいつも朝早く起きて、私のお弁当を作ってくれます。怒られた時やケンカをした後は、自分が悪いと分かっていても素なおになれず、意地を張っていて、いつもお母さんが先に許してくれます。そのあとは、お母さんが必ず抱きしめられます。お母さんはとても温かくて、いつも抱きしめられるとなみだがでます。私はそんなお母さんが大好きです。最近は素なおに「ありがとう」や「ごめん」を言えず、心の中で留めることが多くなりました。私は人に比べて自分の気持ちを言う事ができません。だけどこれからは、少しでも、自分の気持ちをお母さんに伝えたいです。